令和4年度 民生委員・児童委員の進退に関する実態把握調査

結果報告書

令和5年12月 群馬県民生委員児童委員協議会

目次

1	調査の実施1
	(1)調査の目的1
	(2) 調査の設計1
	(3) 調査の実施と回収1
	(4) 表記等について2
2	調査のまとめ3
	(1)調査の経緯3
	(2) 結果の概要3
	(3) 結果の考察4
3	集計の結果5
	(1) 回答者の属性5
	(2) 進退(継続・退任) の意向と相談10
	(3) 改選後継続意向の理由等16
	(4) 改選後退任意向の理由等21
	(5) 民生委員になった理由とやりがい26
4	使用した調査表28

1 調査の実施

(1)調査の目的

群馬県での一斉改選における現状として、充足率は98.2%と高い状況である一方で、改選率(退任者の割合)においては全国平均が31.4%であることに比べ、それを大きく上回る47.1%(令和元年度一斉改選)という現状です。

一斉改選の毎におよそ半数の民生委員・児童委員が退任するという状況について、一斉改選の本年(令和4年度)に、民生委員・児童委員の進退を決定付けている事由を調査することで、実態と課題を把握するために本調査を実施しました。

(2)調査の設計

令和4年 12 月に行われる一斉改選では、各市町村役場から県に提出される推薦書類については、おおよそ夏頃を目処に提出されています。そこで、本調査が進退に関して影響を与えないことを考慮して、調査時期は秋頃として随時行うこととしました。

また、調査票は群馬県民児協正副会長会議において精査するとともに、高 崎健康福祉大学金井敏教授にアドバイザーとして協力をいただき作成しまし た。

(3) 調査の実施と回収

調	查文	対象者 県内7単位民児協(おおむね250名程度)										
対象の抽出方法		県内5ブロック及び中核市(前橋市・高崎市)から バランス良く抽出										
調	查	方	法	単位民児協ごとの定例会において、直接説明し、その 場でアンケートの記入を依頼、記入した個人が特定 されないよう、直接事務局にて回収(無記名式)								
実	施	期	間	令和4年10月~11月								
				単位民児協	対象者	回答者	回収率					
						A 地区	23名	23名	100%			
					B地区	15名	15名	100%				
											C地区	18名
	収	状	況	D地区	21名	18名	86%					
				E地区	36名	34名	94%					
				F地区	71名	62名	86%					
							G 地区	58名	49名	84%		
				計	242名	219名	91%					

(4) 表記等について

- ① 図表中の「n(回答者数)」は、該当する回答者の総数である
- ② 図表中の単位は各設問に明記している単位とする
- ③ 継続・退任について回答を分けているが、手続き処理中であるためどちらも「意向」として処理する
- ④ 回答率等割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある
- ⑤ 自由記述等の回答については、一部を省略、また編集(誤字等修正) している場合がある
- ⑥ クロス集計については、分瀬金柱となる項目(任期など)の「無回答」は掲載を省略している。

高崎健康福祉大学 金井敏

(1)調査の経緯

令和 4 年の一斉改選における民生委員定数の充足率は、群馬県は 98.2%で全国平均 93.7%を上回る結果でした。全国の定数における充足率は前回よりも 1.5 ポイント減少し、この傾向は続いています。民生委員の充足率のみならず、行政委嘱ボランティアである保護司や消防団員も充足率が低下してきており、地域における公的なキーパーソンの確保が危惧されているところです。

このような状況のなかで、群馬県民児協では初めてとなる民生委員の進退に 関する実態把握を行いました。民生委員の進退について、継続するか退任する か、その理由や相談状況、それぞれのやりがいや支えなど、これまで統計データ としては把握できていない状況を明らかにできました。また、一斉改選の直前で 進退がほぼ決まっている時期に行った調査としては、全国でも例のないもので あり、今後のなりて確保に向けた対策を講じるうえで、貴重な資料を得られるも のとなりました。

調査手法としては、対象者を県内の地理的な配置や経験年数をバランスよく 選定し、定例会での説明したのちに回答してもらい、個人が特定できない回収方 法で実施しました。回収率は91%でした。

(2) 結果の概要

- ①回答者の属性で就労状況を聞いたところ「就業している」が4割であり、働いている委員が多いことがわかりました。
- ②進退については、継続意向が 40.1%で、退任意向が 59.9%であり、約 6 割 の委員が退任したいと考えていることがわかった。実際に改選で退任された 委員は約5割弱※でしたので、退任意向の約6割のうち約1割は退任をとど まったと推察されます。進退について相談の有無は両者とも半数でした。相 談先は「家族」が一番多く、相談しないで退任を考えている委員も6割強いることがわかりました。
 - ※退任委員の割合は、R4 一斉改選退任慰労金給付者数 1,928 人/R3 年度末民生委員数 4,147 人(厚労省福祉行政報告例)=46.5%から推定の割合を算出しました。
- ③進退について継続を考えている委員に理由を聞きました。1期目の委員は、「後任者がいない、見つからない」が最も多い意見でした(自由回答から把握)。しかし、やりがいや支えとして「住民や地域の活動を知れた」「仲間ができた」などの回答も多く、民生委員になって「良かった」と気持ちが6割強ありました。1期目の委員は委嘱後にコロナ禍による委員活動の制限があったため、思うように活動ができませんでした。それでも継続の意思を持っていることは心強いです。2~5期目の委員についても同様の傾向が見られました。

- ④進退について退任を考えている委員に理由を聞きました。1期目の委員は、「1期で交代と決まっている」が最も多い意見でした。また1・2期目で「輪番である」も回答数が多くなっています。3~5期目では「年齢基準による」が最も多い意見となっています。なお、1期目の委員では「仕事を持っている」も多い回答でした。それでも、③の継続委員と同様に、やりがいや支えも多く、民生委員になって「良かった」という気持ちも多くの委員が回答しています。
- ⑤民生委員を引き受けた理由は「断り切れず」が一番多くなっています。とくに退任意向の委員では継続意向よりも多くの委員が回答しています。民生委員のやりがいや支えは「勉強になる」「仲間ができる」「自身の成長」「感謝の言葉」が、継続意向・退任意向ともに励みになっていることがわかりました。民生委員になって率直に「良かった」と思っている委員は、全体の8割弱でした。

(3) 結果の考察

①「民生委員になって良かった」を地域住民に周知する

今回の調査では、初めて継続と退任を考えている委員の理由や気持ちが明らかになりました。継続と退任の気持ちがある委員の両方とも、民生委員になって「良かった」や「やりがいや支え」になったと回答しています。民生委員として活動することにより、自身の人生のなかで社会的に有用な経験ができたと前向きに受け止めていることがわかります。このような積極面や強みを多くの住民に周知することにより、民生委員の活動内容の理解や好感度が上がり、民生委員のなりて確保に寄与すると考えます。そして、進退の相談を含めて、日頃から家族の理解の下に活動することが大切であることも改めて認識することができました。

②輪番制などローカルルールを封印し廃止する

退任の理由として多くの委員が回答していることとして、「1期目で退任することが決まっている」「輪番制である」という"ローカルルール"が強く存在していることがわかりました。この"ローカルルール"の背景には、民生委員の役割を地域みんなで担当することにより福祉の理解者が増えるという考えがあると思われます。また、輪番制については欠員という事態を避けるための地域のルールと考えられます。このような地域での対応は、一昔前の行政による指示を受けて活動する民生委員活動であった時代は、それでも良かったのかも知れません。しかし、近年の制度の狭間の問題や社会的な孤立、認知症高齢者の増加など福祉問題の多様化や複合化の時代は、民生委員活動も地域生活課題を把握する主体として、それなりの知識や経験が必要になってきます。地区民児協のなかの多くの委員が1期で必ず交代するとか、次の期はお隣さんという輪番制では、地域共生社会の時代に寄り添った民生委員としての支援は困難でしょう。もちろん、一般市民が委嘱される民生委員ですから、新任の研修や経験の蓄積により、頼られる民生委員に育てる仕組み

も必要です。いずれにしても"ローカルルール"は、封印あるいは廃止することを強く提案いたします。

③働きながらも活動できる環境をつくる

就業している民生委員が多いことも明らかになりました。他県では民生委員の約半数が働いているというデータもあります。本県もそれに近い結果となりました。働きながら活動する委員をサポートすることも、なりて確保では重要になります。委員同士の連携強化や定例会開催の工夫、日常活動の負担軽減、働く職場への働きかけなど、民生委員活動への配慮を施す必要があります。県民児協としても働きながら活動できる環境づくりを検討する時期に来ていると思います。

④新任からベテランになるロードマップを示す

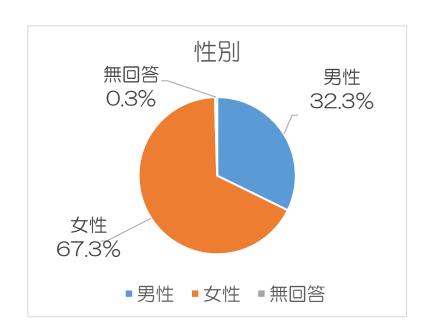
今回の調査でも、「断り切れず」になる委員が多いことがわかりました。このこと自体は民生委員がやさしい気持ちの持ち主であることを証左するものとして問題ではありません。なりてを探す推薦者としては、ほっと安堵することでしょう。しかし、「1 期だけやってもらえばいい」とか、よく聞かれるように「定例会に出るだけで良いから」などその場しのぎの勧誘で委員を承引したならば、その後の活動へのモチベーションは高まらないでしょう。民生委員の現実的な職務や新任からベテランになっていくロードマップ、民児協での支え合いなど、安心感を醸成する情報を示すことも必要です。

3 集計の結果

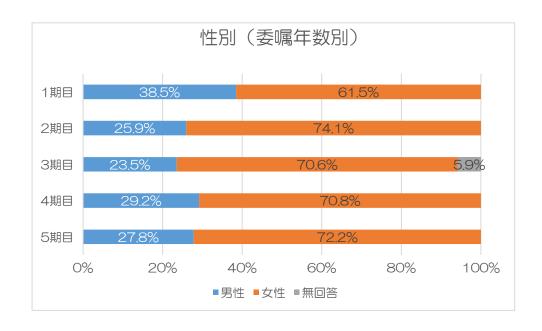
(1) 回答者の属性

① 性別

性別は「男性」が32.3%(70名)、「女性」が67.3%(14 6名)となっている。

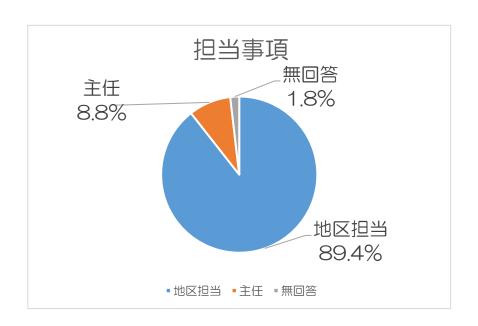


性別(委嘱年数別)は「1期目」から「5期目」までの全体をとおして、「女性」の割合が60%以上を占めている。

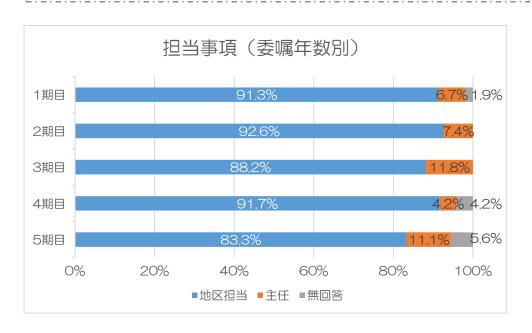


② 担当事項

担当事項は「地区担当民生委員・児童委員」が89.4%(194名)、「主任児童委員」が8.8%(19名)となっている。

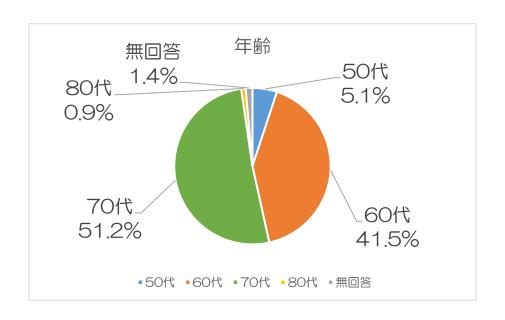


担当事項(委嘱年数別)は「3期目」と「5期目」の「主任児童委員」のみ10%以上の割合を占めている。

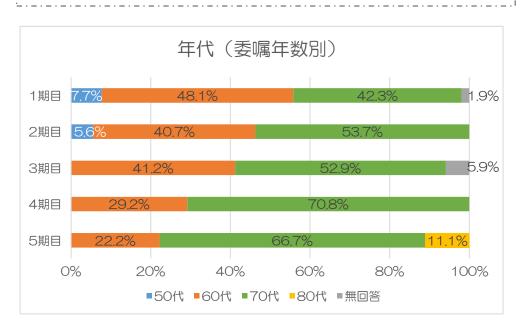


③ 年代

年代は「70代」が51.2%で一番多く、次いで「60代」が41.5%となっている。

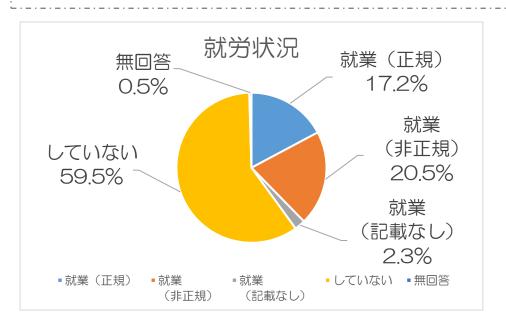


年代(委嘱年数別)は、「1期目」のみ「60代」が多いが、「2 期目以上」となると「70代」が多く占める。

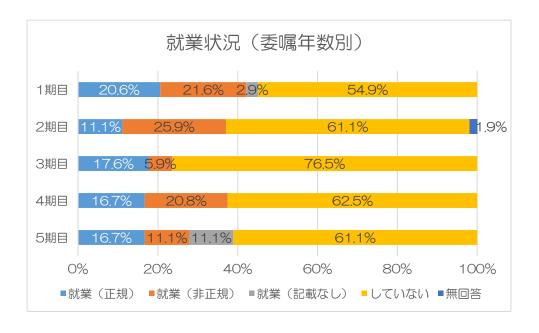


④ 就労状況

就労状況は「就業していない」が59.5%、「就業している」が40.0%となっている。就業している委員は「就業(非正規)」が20.5%で一番多く、次いで「就業(正規)」が17.2%となっている。



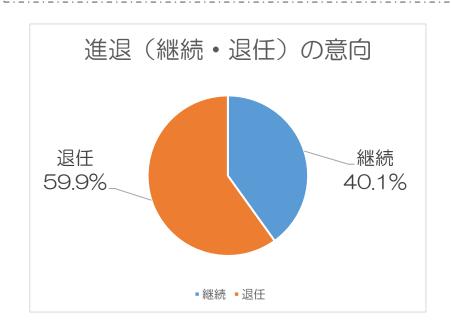
就労状況は、「就労していない」が50%以上を占めている。「就労している」については、「1期目」が多い状況である。雇用形態は「3期目」を除き、「非正規」が多くなっている。



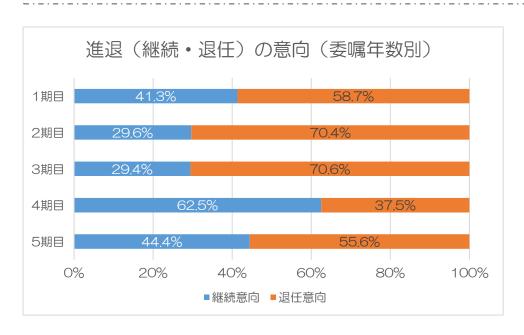
(2) 進退(継続・退任)の意向と相談

① 進退(継続・退任)の意向

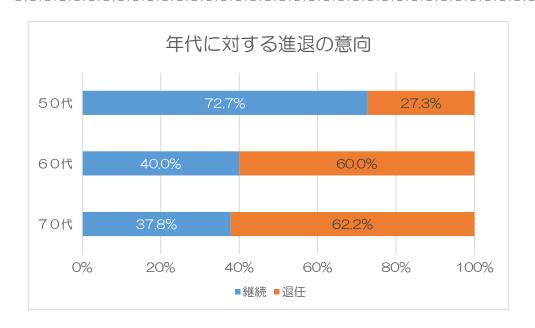
進退の意向は「退任意向」が59.9%であり、「継続意向」は 40.1%よりも多くなっている。



¦ 進退の意向は、4期目を除いて「退任意向」が「継続意向」より高 にくなっている。

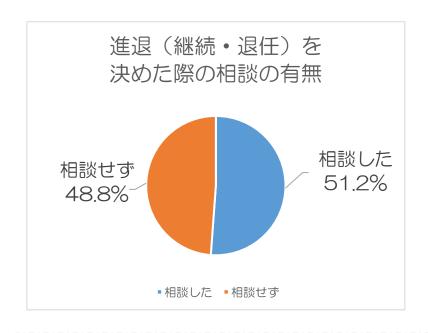


年代に対する進退の意向は「50代」については「継続意向」が70%以上を占めているが、「60代」、「70代」については「退任意向」が60%以上を占めている。



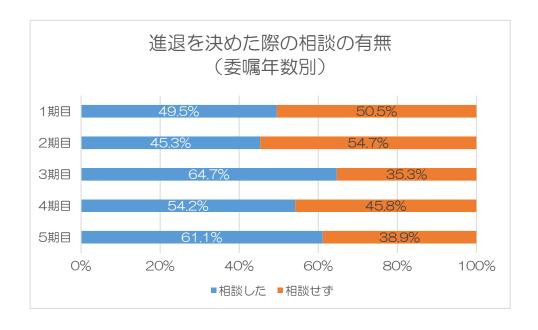
② 進退(継続・退任)を決めた際の相談の有無

相談の有無については、「相談した」「相談していない」がおお よそ50%ずつとなった。



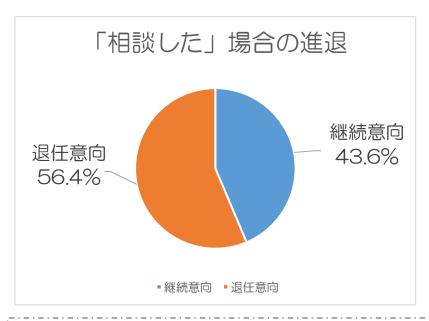
相談の有無については、「1期目」「2期目」については「相談せず」が50%以上を占めている。

また、「3期目」以上については「相談した」が50%以上を占めている。

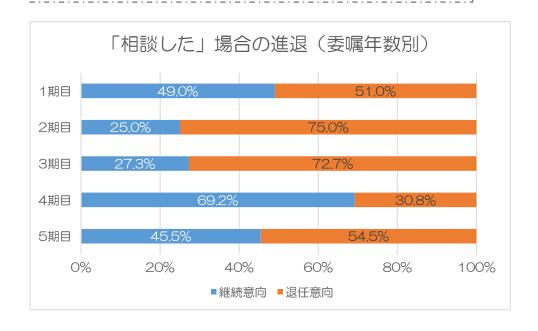


③ 相談の有無による進退への影響

「相談をした」場合の進退の意向は「退任意向」が56.4%となっている。



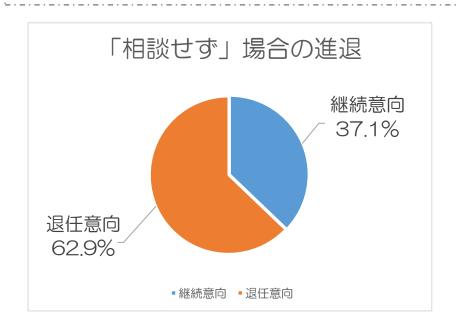
相談の有無による違いに顕著なものはみられなかった。



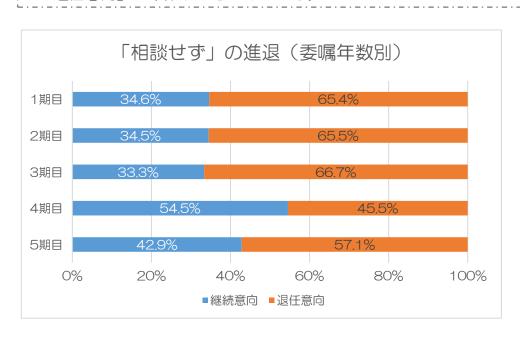
▶主な相談先(自由回答)

- 家族
- 同僚
- 自治会

「相談せず」の進退の意向は「退任意向」が62.9%と多くなっている。

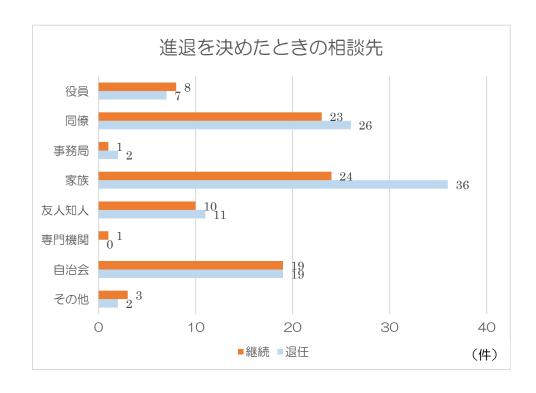


「相談せず」の場合の進退の意向は「4期目」がほぼ半数だが、それ以外 は「退任意向」が半数以上を占めている。



④ 進退を決めたときの相談先(全体)

進退を決めたときの相談先について、進退に関わらず「家族」 「同僚」「自治会」の順で多い。



(3) 改選後継続意向の理由等

①【1期目】

▶継続意向の理由(自由記述)

- ・後任がいない、見つからない ※最も多い意見
- ・就任時に2期程度とお願いされた
- ・地区の慣習で、1期では後任に託すわけにはいかない
- 地域貢献
- ・地域のために何かしたいと思った
- ・地域住民とのパイプを深めたい
- 地域のことをよく知らなかったので、もっとよく知り、役に立てればと思う
- 訪問する中、喜びの声は励みになる
- 待っていてくれる人がいる

▶やりがいや支えなど(複数回答)

活動を通じて自分自身が成長できた
地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
活動を通じて仲間ができた
地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
地域の人々の認知や協力が得られた
活動が自分の生活の「はり」につながっている
民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
家族の励ましや理解
職場の励ましや理解
その他 ()
特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	4	9. 5%
良かった	23	54.8%
どちらとも言えない	10	23.8%
少し後悔している	4	9. 5%
とても後悔している	1	2. 4%
計	42	

②【2期目】

▶継続意向の理由(自由記述)

- ・後任が見つからない ※最も多い意見
- やりがいを感じる
- ・支援している方から喜ばれた
- ・ぜひやってほしいと区長から依頼された
- ・コロナ禍で活動が満足にできず、心残り、できなかったことを続けてできたらと思って
- ・社会貢献ができるすばらしい役だと思う
- やりがい達成感を感じ、地域をよく知ることができた
- 自分ができることをしたい

▶やりがいや支えなど(複数回答)

8	活動を通じて自分自身が成長できた
9	地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
11	活動を通じて仲間ができた
3	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
7	住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
7	地域の人々の認知や協力が得られた
7	活動が自分の生活の「はり」につながっている
2	民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
3	家族の励ましや理解
Ο	職場の励ましや理解
3	その他()
2	特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	6	40.0%
良かった	5	33. 3%
どちらとも言えない	3	20.0%
少し後悔している	0	0.0%
とても後悔している	1	6. 7%
計	15	

③【3期目】

▶継続意向の理由(自由記述)

- 後任が見つからない
- やりがいがあり、困っている人からの相談に乗ってあげることができ 喜んでいただき嬉しく感じた
- 訪問して「ありがとう」といわれるとうれしくなる
- ・地域でやりたいことを進めるのに民生委員を続けたほうがよいと考えた
- ・支援している人から喜ばれたから続ける
- 地域をよく知ることができる

▶やりがいや支えなど(複数回答)

4	活動を通じて自分自身が成長できた
4	地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
4	活動を通じて仲間ができた
1	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
3	住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
3	地域の人々の認知や協力が得られた
Ο	活動が自分の生活の「はり」につながっている
1	民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
0	家族の励ましや理解
0	職場の励ましや理解
0	その他 ()
Ο	特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	3	60.0%
良かった	2	40.0%
どちらとも言えない	0	0.0%
少し後悔している	0	0.0%
とても後悔している	0	0.0%
計	5	

④【4期目】

▶継続意向の理由(自由記述)

- ・後任が見つからない ※最も多い意見
- ・地域をよく知ることができた。
- ・今後すぐに自分が後期高齢者になるので、もう1期のみ地域の方と 関わっていきたい
- だんだん地域の方々のことを知り、大変なことも多々あるがやりがいを感じることも多くなった
- 仲間ができた
- 担当者の方々には嫌な思いがなく、楽しく訪問できている
- 支援している方から喜ばれたから続けたい
- とても勉強になる
- もう少し継続して地域の包括ケアの体制整備に関わってみたい気持ちがある

▶やりがいや支えなど(複数回答)

11	活動を通じて自分自身が成長できた
12	地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
10	活動を通じて仲間ができた
3	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
8	住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
8	地域の人々の認知や協力が得られた
5	活動が自分の生活の「はり」につながっている
<u> </u>	民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
3	家族の励ましや理解
Ο	職場の励ましや理解
0	その他 ()
0	特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	8	53.3%
良かった	7	46. 7%
どちらとも言えない	0	0.0%
少し後悔している	0	0.0%
とても後悔している	0	0.0%
計	15	

⑤【5期目以上】

▶継続意向の理由(自由記述)

- ・後任が見つからない
- 地域をよく知ることができる
- ・支援している方から喜ばれた
- 仲間ができてよかった
- やりがい、達成感が感じられる
- 続けてほしいとの話をいただいた
- 他の主任児童員さんにやりのこしたことを頑張ろうと声をかけられ継続することにした
- ・福祉関連の知識が増える

▶やりがいや支えなど(複数回答)

6	活動を通じて自分自身が成長できた
6	地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
5	活動を通じて仲間ができた
2	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
2	住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
3	地域の人々の認知や協力が得られた
2	活動が自分の生活の「はり」につながっている
4	民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
3	家族の励ましや理解
1	職場の励ましや理解
0	その他 ()
0	特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	1	12.5%
良かった	6	75.0%
どちらとも言えない	1	12.5%
少し後悔している	0	0.0%
とても後悔している	0	0.0%
計	8	

(4) 改選後退任意向の理由等

①【1期目】

▶退任意向の理由(自由記述)

- ・1期で交代と決まっている ※最も多い意見
- ・輪番である ※回答数多
- ・1 期で交代ということで引き受けた ※回答数多
- ・仕事を持っているので時間をとるのが厳しい ※回答数多
- ・家の事情(介護等)・健康上の理由により
- ・6.1 調査があまりに昭和的なやり方でうんざり
- 1 人でも多くの方に民生委員の活動を知ってもらいたいと思った
- 家族の理解が得られない
- 自分の性格に合っている仕事内容と思えない
- ・自分の自由な時間が少なくなり、大変
- ・ 年齢基準による退任

▶やりがいや支えなど(複数回答)

活動を通じて自分自身が成長できた
地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
活動を通じて仲間ができた
地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
地域の人々の認知や協力が得られた
活動が自分の生活の「はり」につながっている
民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
家族の励ましや理解
職場の励ましや理解
その他 ()
特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	12	19. 7%
良かった	36	59.0%
どちらとも言えない	10	16. 4%
少し後悔している	3	4. 9%
とても後悔している	0	0.0%
計	61	

②【2期目】

▶退任意向の理由(自由記述)

- ・輪番である ※最も多い意見
- ・身体の不調、認知機能の低下等により ※回答数多
- ・家族の理解が得られない ※回答数多
- ・事前に聞いていた活動内容と異なる
- ・行政・社協からの頼まれごとが多い
- 仲間が退任するから
- ・自分以外にも地区の実情を知っておいたほうがよいとも思う
- ・続けてほしいとの要望もあったが、若い人にバトンタッチ
- ・中傷を受けた
- どこまで仕事をしてよいかいまいちわからない

▶やりがいや支えなど(複数回答)

18	活動を通じて自分自身が成長できた
33	地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
25	活動を通じて仲間ができた
9	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
19	住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
13	地域の人々の認知や協力が得られた
8	活動が自分の生活の「はり」につながっている
3	民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
2	家族の励ましや理解
2	職場の励ましや理解
Ο	その他(
1	特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	14	36.8%
良かった	18	47. 4%
どちらとも言えない	5	13. 2%
少し後悔している	0	0.0%
とても後悔している	1	2.6%
計	38	

③【3期目】

▶退任意向の理由(自由記述)

- ・年齢基準による退任 ※最も多い意見
- ・これ以上は続ける自信がない
- ・体調不良のため
- ・移動も含めて会議が負担
- 活動ノートの記入がわかりにくい
- ・ 今までの民生委員さんが 2 期、3 期で退任しているため

▶やりがいや支えなど(複数回答)

8	活動を通じて自分自身が成長できた
0	心動を通して日ガロダが成立てきた
7	地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
10	活動を通じて仲間ができた
2	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
7	住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
3	地域の人々の認知や協力が得られた
4	活動が自分の生活の「はり」につながっている
0	民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
<u> </u>	家族の励ましや理解
0	職場の励ましや理解
0	その他 ()
0	特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	1	8.3%
良かった	7	58.3%
どちらとも言えない	4	33. 3%
少し後悔している	0	0.0%
とても後悔している	0	0.0%
計	12	

④【4期目】

▶退任意向の理由(自由記述)

- ・年齢基準による退任 ※最も多い意見
- 家庭(介護・転居)の事情
- ・定例会議以外の事業・懇親会等が多く負担(コロナでない時期)
- ・仕事を持っている
- ・長期による勇退

▶やりがいや支えなど(複数回答)

9	活動を通じて自分自身が成長できた
6	地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
8	活動を通じて仲間ができた
2	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
4	住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
4	地域の人々の認知や協力が得られた
5	活動が自分の生活の「はり」につながっている
2	民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
2	家族の励ましや理解
0	職場の励ましや理解
0	その他 ()
0	特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	6	66. 7%
良かった	2	22. 2%
どちらとも言えない	1	11. 1%
少し後悔している	0	0.0%
とても後悔している	0	0.0%
計	9	

⑤【5期目以上】

▶退任意向の理由(自由記述)

- ・年齢基準による退任 ※最も多い意見
- 若い方の選任ができた
- 世代交代
- 年齢が高いので後の人に任せたい
- ・目標の年数(18年)を達成したので後任の方にバトンタッチする
- ・退任を打診してきたが、後任がおらず継続

▶やりがいや支えなど(複数回答)

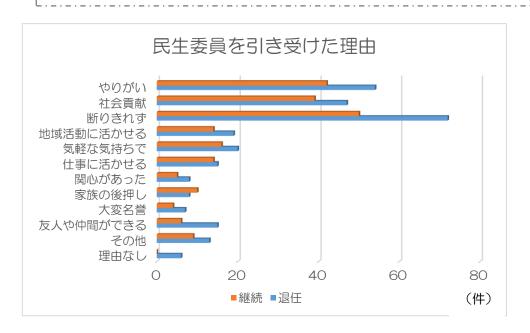
9	活動を通じて自分自身が成長できた
7	地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
7	活動を通じて仲間ができた
4	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
6	住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをもらった
6	地域の人々の認知や協力が得られた
3	活動が自分の生活の「はり」につながっている
4	民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
3	家族の励ましや理解
О	職場の励ましや理解
О	その他 ()
0	特に思い当たらない

項目	回答数	割合
とても良かった	6	66. 7%
良かった	3	33. 3%
どちらとも言えない	0	0.0%
少し後悔している	0	0.0%
とても後悔している	0	0.0%
計	9	

(5) 民生委員になった理由とやりがい

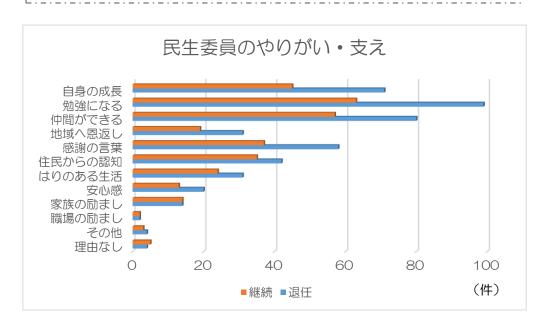
① 民生委員を引き受けた理由(全体)

民生委員になった理由について、継続・退任ともに「断り切れず」「やりがい」「社会貢献」の順で多い。



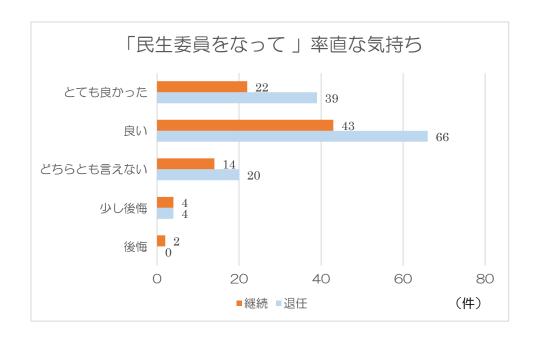
② 民生委員のやりがい・支え(全体)

民生委員のやりがい・支えについて、継続・退任ともに「勉強になる」「仲間ができる」「自身の成長」「感謝の言葉」の順で多い。



③ 「民生委員になって」率直な気持ち

「民生委員になって」率直な気持ちについて、進退を関わらず「良 い」が最も多い。



4 使用した調査表

令和4年度 群馬県民生委員児童委員協議会 民生委員・児童委員の進退に関する実態把握調査

(1) 性別 (ご本人について)

○£D					
	1	男性		2	女性

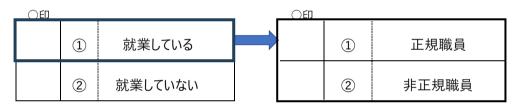
(2) **令和 4 年 12 月 1 日時点でのご年齢** (ご記入いただいているご本人について)

	7
	1 1
	_
	1753

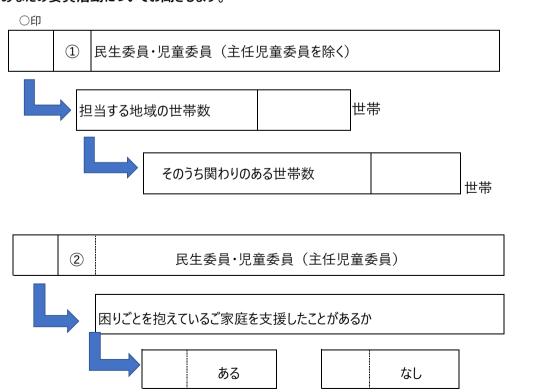
(3) 在任期間(ご記入いただいているご本人について)

○印						
	1	1期目	2	2期目	3	3期目
	4	4期目	(5)	5期目以上		

(4) 現在の就労状況 (ご記入いただいているご本人について)



(5) あなたの委員活動についてお聞きします。



(6) あなたの改選後の進退の意向並びにその理由についてお聞かせください。

○印					
	1	継続意向		2	退任意向

【理由】※下記の例を参考にご自由にお書き下さい。

【継続意向の例】

地域をよく知ることができる

仲間ができた

地区での決まりごと

「あなただから」

「ぜひやってほしい」等ポジティブな理由により頼まれた

「後任がいない」

「後任が見つからない」等ネガティブな理由 により頼まれた

福祉関係の知り合いができた

支援している方から喜ばれたから続けてみたいと思った

民生委員をやっていて褒められた

民協の仲間、民協の雰囲気が居心地が 良い

【退任意向の例】

事前に聞いていた活動内容と異なる

他のメンバーと相性が合わない

家族の理解が得られない

輪番である

活動にやりがいを感じなかった

(物足りなさを感じた)

行政・社協からの頼まれごとが多い

(あて職含む)

定例会だけ参加すれば良いと聞いていたの に実際は違った

年齢基準による退任

介護者がいる

1期で交代が決まっている

仕事を持っているから

会長と意見が合わない

(7) 進退を決めたときに相談した相手・機関について、あてはまるものすべてに ○をつけてください。

① 相談したことがある		(2)	相談したことはない

「①相談したことがある」を選んだ方のみお答え下さい。

その相談先に当てはまるものすべてに○を付けて下さい(複数回答可)

	○ ED		
単位民児協の役員		専門機関・団体	
同僚・先輩の民生委員・児童委員		自治会・町内会	
民児協事務局		その他	
家族		()
友人·知人			

(8) どうして民生委員になられたか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

地域のために働くことは、やりがいがあると思ったので					
社会貢献活動として重要と思ったので					
断りきれなかったので					
これまでの地域での活動が活かせると思ったので					
月1回程度の活動で、誰にでもできると聞いて気軽な気持ちで					
これまでの仕事の経験が活かせると思ったので					
民生委員・児童委員に以前から関心があったので					
家族から後押しされたので					
大変名誉なことだと思ったので					
友人や仲間ができると思ったので					
その他()				
特に理由はない					

(9) 民生委員としてのやりがいや支えは何ですか?あてはまるものすべてに

○をつけてください。

活動を通じて自分自身が成長できた
地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた
活動を通じて仲間ができた
地域社会やお世話になったことへの恩返しができた
住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばをかけてもらった
地域の人々の認知や協力が得られた
活動が自分の生活の「はり」につながっている
民児協や行政など、組織としての協力体制の安心感
家族の励ましや理解
職場の励ましや理解
その他()
特に思い当たらない

(10) 民生委員になって、どう感じていますか。

お気持ちに最も近いものをひとつだけ選んで○を付けてください。

とても良かった
良かった
どちらともいえない
少し後悔している
とても後悔している

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。